

1日700件、年間24万件の電話を着信

全国統一番号・フリーダイヤル 本格運用 1周年

(2001年度からの累計着信数100万件へ)

<全国統一番号・フリーダイヤル 本格運用 1周年> (資料) (資料)

チャイルドライン支援センターでは、2009年5月5日より統一番号・フリーダイヤルの本格的な運用を開始しました(2008年11月から2009年5月4日までは試行期間)。日常的にフリーダイヤルを実施する以前(2007年度)には13万件であった年間着信数は、2008年度に18万件になり、2009年度には24万件に達する見込みです。フリーダイヤル化することによって、子どもたちが圧倒的に電話をかけやすくなったことがうかがえます。

<チャイルドラインの現状> (資料)

- ・チャイルドラインのある都道府県/実施団体数 **39都道府県/68団体**(2010年4月1日現在)
(チャイルドラインのない8県:岩手県、福島県、島根県、徳島県、香川県、佐賀県、大分県、鹿児島県 準備など進行中)
- ・フリーダイヤル番号 **0120-99-7777** (携帯電話、PHS、公衆電話からも無料)
- ・実施時間 **月曜日~土曜日 16時~21時** (栃木県、埼玉県、東京都、山梨県では日曜日含む毎日実施)

<チャイルドラインの現場から> (資料)

チャイルドライン支援センターが、全国のチャイルドライン実施団体の活動従事者に向けて、2010年3月に行ったアンケートからは、電話をかけてきた子どもたちが、「自分に自信がない」「孤独」「不安」を感じていることがうかがえます。

<活動を取り巻く厳しさ 財政と人材不足>

【財政】

- ・フリーダイヤルの年間通話料 **約1,600万円**
- ・子どもたちへの周知 **7歳~18歳までの子ども約1,500万人へのカード配布を目指す**

【人材】

- ・全国で**2,300人のボランティア**が参加(1団体あたり33人) 不況でボランティアが減少傾向

<2010子どもの日キャンペーン>

5月5日(祝)「こどもの日」から5月17日(月)「International Child Helpline Day(以下参照)」までをキャンペーン期間とし、実施態勢を強化、及び日曜日も開設して子どもたちの電話を受けます。

<世界のチャイルドラインとInternational Child Helpline Day>

現在、日本を含め世界119カ国でチャイルドラインが実施されています。世界各国のチャイルドラインをネットワークしているのが、2003年に発足したNGO「チャイルド・ヘルプライン・インターナショナル(CHI)」です。5月17日は、世界各国のチャイルドラインが社会に向けてアピールを行う「International Child Helpline Day」として、CHIが2007年から呼びかけを行っています。

<添付資料>

2009年全国のチャイルドライン実施報告
チャイルドラインのあゆみ
子どもたちに配布しているカード
実施団体アンケート結果(一部)

問い合わせ先

認定特定非営利活動法人チャイルドライン支援センター事務局
〒162-0065 東京都新宿区住吉町8-5 曙橋コーポ2階
TEL:03-5312-1886(平日10時~17時) FAX:03-5312-1887
E-mail:info@childline.or.jp HP:http://www.childline.or.jp